

小学生を対象にした家庭におけるフッ素洗口

甘楽町役場 保健福祉課 保健係
 齋藤はるみ 森下成世 塩原美佐子 平井まさみ
 野中 香 山田幸代
 社団法人富岡甘楽歯科医師会
 大竹丈一 大貫徳夫 上條富夫 萩原吉則 峰岸 実

1. はじめに

甘楽町では、以前から乳歯・永久歯ともにむし歯が多く、効果的な予防対策の実施が大きな課題であった。

そこで、昭和 60 年度から、乳歯のむし歯予防対策として、口腔衛生指導を中心とした「むし歯予防教室」を開始したが、改善が見られなかった。そのため、平成 2 年度から、むし歯予防教室で希望者を対象に、6 か月ごとのリコールによるフッ素塗布を実施し、同時に家庭でのフッ素利用を指導した。その結果、乳歯のむし歯が激減した。〔表 1〕

また、昭和 61 年 12 月から、甘楽町立の 4 幼稚園〔秋畑、小幡、福島、新屋〕で、永久歯のむし歯予防対策として、フッ素洗口を開始した。平成 7 年 3 月には、町立かんな保育園でもフッ素洗口が開始され、町内の全施設の 4、5 歳児がフッ素洗口を実施している。〔表 2〕

さらに、平成 4 年度から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の全クラスで、歯科衛生士による歯科保健指導を実施している。歯科保健に対する意識の向上や歯肉炎の予防には成果をあげているが、歯科保健指導によるむし歯予防効果は、あまり認められていない。〔平成 9 年度 群馬県歯科保健大会 富岡甘楽歯科医師会の発表資料を参照〕

2. 家庭におけるフッ素洗口実施までの経緯

平成元年には、富岡甘楽歯科医師会から提出された「フッ素洗口法の推進についての陳情書」が甘楽町議会で採択された。さらに、平成 7 年には富岡甘楽歯科医師会、富岡市甘楽郡医師会、富岡甘楽薬剤師会の連名で「フッ素洗口法の学校歯科保健への導入についての陳情」が提出され、議会で趣旨採択された。

町では、小中学校でのフッ素洗口の実施に向けて、先進地の視察など、さまざまな取組みを行ってきたが、小学校において全児童一律に実施する体制が整わなかった。そこで、小学校児童を対象に希望を取り、家庭で実施するフッ素洗口を本年度から開始した。

3. フッ素洗口の実施方法

初年度〔平成 10 年度〕は、保健福祉課で予算化し、48 万円を計上した。

保健福祉課から教育委員会をとおして、各小学校に文書の配布と申込書の取りまとめを依頼。

町長、教育長連名の文書とフッ素洗口申込書〔アンケートを含む〕を各小学校から保護者へ配布。

保護者は各小学校へフッ素洗口申込書を提出する。各小学校が申込書を取りまとめて、保健福祉課が回収する。

〔以上は 4 月中に実施〕

保健福祉課で登録台帳を作成。

保健福祉課から保護者に説明会開催通知を郵送。

表 1 甘楽町 3 歳児健診結果

年 度	むし歯の数 〔本〕	むし歯保有者率 〔%〕
昭和 62 年	5.60	74.0
63 年	5.51	78.6
平成 元年	5.89	80.9
2 年	5.61	76.8
3 年	4.89	82.5
4 年	4.26	68.2
5 年	4.35	69.3
6 年	3.57	59.3
7 年	2.38	47.7
8 年	1.96	41.7
9 年	1.65	42.4

表 2 幼稚園・保育園のフッ素洗口実施状況

年 度	対象数	実施数	実施率
平成元年	332	318	95.8%
2 年	312	302	96.8%
3 年	335	330	98.5%
4 年	298	296	99.3%
5 年	253	251	99.2%
6 年	254	250	98.4%
7 年	263	260	98.9%
8 年	261	259	99.2%
9 年	280	279	99.6%
10 年	260	260	100.0%

表 3 フッ素洗口申込み状況〔平成 10 年 9 月 14 日現在〕

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
秋畑	在籍数	9	11	17	13	20	12	82
	申込数	5	7	9	7	9	6	43
小	申込率	55.6%	63.6%	52.9%	53.8%	45.0%	50.0%	52.4%
小幡	在籍数	57	47	45	47	50	59	305
	申込数	35	32	25	25	15	34	166
小	申込率	61.4%	68.1%	55.6%	53.2%	30.0%	57.6%	54.4%
福島	在籍数	48	46	48	56	41	66	305
	申込数	24	24	16	30	9	19	122
小	申込率	50.0%	52.2%	33.3%	53.6%	22.0%	28.8%	40.0%
新屋	在籍数	42	53	54	58	48	75	330
	申込数	24	21	24	21	15	16	121
小	申込率	57.1%	39.6%	44.4%	36.2%	31.3%	21.3%	36.7%
合 計	在籍数	156	157	164	174	159	212	1022
	申込数	88	84	74	83	48	75	452
計	申込率	56.4%	53.5%	45.1%	47.7%	30.2%	35.4%	44.2%

説明会を開催する。歯科医師によるスライドを使用した説明と資料の配布。

5月26日 午後7時 5月28日 午後3時

6月4日 午前9時

説明会に出席した保護者に、歯科医師立会いの上、会場で初回分を配布する。

ミラノール使用指示書・ミラノール溶解ピン

ミラノール3包〔初回分〕・引換券〔3回分〕

上記の説明会に出席できない場合は、毎月開催しているむし歯予防教室で初回分を配布する。

家庭でのフッ素洗口開始

3か月を目安に引換券でミラノールを配布。

むし歯予防教室の開催時または協力歯科医院で随時引換える。

保健福祉課は引換券を回収、使用状況を台帳で管理する。

次年度以降は、初回者については上記の方法による。継続者については該当年度の引換券を郵送する。中断者は意思を確認して対応する。中学校卒業時まで継続できるようにする。

4. 結果と考察

フッ素洗口の申込み状況の詳細は、表3のとおりである。学校別では小幡小と秋畑小の申込率が高く、学年別では低学年ほど申込率が高い傾向がある。

フッ素洗口申込者の54.2%が、むし歯予防教室に参加したことがある。特にフッ素塗布を導入した3年生以下では参加者が多い。また他町村からの転入者が20.8%と意外に多い。〔表4〕

フッ素洗口申込者の86.5%はフッ素塗布を受けた経験があり、受けた場所としては歯科医院、むし歯予防教室の順に多い。3年生以下ではむし歯予防教室の方が多。その他としては、県内や県外の保健所などがあつた。〔表5〕

フッ素洗口申込時にすでに家庭でフッ素洗口をしている者が159人いて、その内101人は3年以上継続している。以前ミラノールを使用したことがある者も127人いるが、86人が1年未満の使用で中断していて、家庭でフッ素洗口を継続することの難しさが分かる。今回初めてミラノールを使用する者が160人いる。〔表6〕

フッ素洗口申込者のうち35名が初回分を引換えていない。したがって、フッ素洗口の実施率は40.8%〔417/1022〕である。

フッ素について知識があるほど申込率が高い傾向を示す反面、すでに長期間ミラノールを使用している者に、今回申込まなかつた者が多かつた。

5. 今後の課題

平成元年度以来、小中学校でのフッ素洗口実施に向けて検討を重ねてきたが、学校での実施については体制が整わなかつたため、次善の策として今回の家庭におけるフッ素洗口の実施となつた。町で予算を計上し、これだけ大規模に実施するのは全国的にも初めてのことである。

フッ素洗口は、永久歯萌出前の4、5歳児から中学校卒業頃まで、継続して使用すると50~80%の高いむし歯予防効果があるが、学校や園で集団的に実施する場合に比べて、家庭でのフッ素洗口は継続性に難しさがある。家庭でフッ素洗口を継続できる、意識づくり、環境づくり、政策づくりが、今後の重要な課題である。

表4 むし歯予防教室参加状況

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	〔%〕
参加したことがある	63	50	53	44	18	17	245	54.2%
5回以上	31	30	33	6	1	1	102	22.6%
3~4回	18	12	9	9	1	4	53	11.7%
1~2回	11	5	8	27	12	12	75	16.6%
回数不明	3	3	3	2	4	0	15	3.3%
参加したことはない	5	11	9	21	19	42	107	23.7%
他町村からの転入	20	23	11	16	10	14	94	20.8%
不明	0	0	1	2	1	2	6	1.3%
フッ素洗口申込者数	88	84	74	83	48	75	452	100.0%

表5 フッ素塗布経験状況

	秋畑小	小幡小	福島小	新屋小	合計	〔%〕
フッ素塗布の経験あり	39	155	103	94	391	86.5%
むし歯予防教室	25	83	50	53	211	46.7%
富岡地域保健所	2	8	6	18	34	7.5%
歯科医院	33	120	73	51	277	61.3%
歯の健康フェア	6	8	5	11	30	6.6%
その他	1	4	9	12	26	5.8%
フッ素塗布の経験なし	3	11	19	25	58	12.8%
不明	1	0	0	2	3	0.7%
フッ素洗口申込者数	43	166	122	121	452	100.0%

〔注〕むし歯予防教室のフッ素塗布は、4年生の一部と3年生以下が対象になっている。

表6 家庭でのミラノール使用状況

	秋畑小	小幡小	福島小	新屋小	合計	〔%〕
現在使用している	19	68	44	28	159	35.2%
3年以上	15	50	25	11	101	22.3%
1年から3年	1	11	15	11	38	8.4%
1年未満	3	7	4	6	20	4.4%
以前使用していた	16	53	32	26	127	28.1%
3年以上	0	2	0	1	3	0.7%
1年から3年	5	15	6	12	38	8.4%
1年未満	11	36	26	13	86	19.0%
使用経験なし	6	45	44	65	160	35.4%
不明	2	0	2	2	6	1.3%
フッ素洗口申込者数	43	166	122	121	452	100.0%

表7 フッ素洗口申込者の初回引換状況

	秋畑小	小幡小	福島小	新屋小	合計	〔%〕
説明会会場	20	89	80	75	264	58.4%
むし歯予防教室	9	37	20	18	84	18.6%
甘楽町役場	7	29	11	22	69	15.3%
未引換(9/14現在)	7	11	11	6	35	7.7%

